

# 福島原発処理水の海洋放出に抗議します

2023年8月30日

社会医療法人健和会／飯田民医連労働組合／伊那谷健康友の会

政府と東京電力は福島第一原発処理水の海洋放出を8月24日から開始しました。処理水には、処理後もトリチウムをはじめとした核物質が含まれています。岸田首相は、この処理水を今後30年にもわたって海洋に放出することを、漁業者らの反対の声を無視して強行しました。

かつて、政府と東京電力は、「関係者の理解なしに、いかなる処分も行わない」との約束を漁業者らと交わしましたが、この約束を反故にした形です。8月21日の岸田首相との面会の場でも 漁業関係者は「海洋放出に反対であることはいささかも変わらない」と述べましたが、岸田首相は「一定の理解を得たと判断した」として海洋放出を決定しました。政府と東京電力は、廃炉を進めるためにも海洋放出は先送りできないと言いますが、いま優先して取り組むべきは汚染水をこれ以上増やさない地下水流入・汚染水削減の抜本的対策です。これに着手しなければ、汚染水は増え続けてしまいます。

福島第一原発事故から12年が経過した今も被害は続いています。いまだ多くの人びとが故郷へ戻れず、被害者への補償も十分に行われていません。また農林水産業・観光業などの生業を取り戻す懸命の努力が続けられていますが、復興からはほど遠く、とりわけ漁業の水揚げ量は原発事故前の2割にとどまっています。今も続く原発事故被害から目を背け、処理水の海洋放出を強行し、地元漁業の復興を阻害することは許されません。

私たちは、処理水の海洋放出に抗議し、原発ゼロ・再生可能エネルギーへの転換を求め続けます。

以上